



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.114 2023年2月号

倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60
TEL 086-444-3212
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

患者満足度を「QOL」で測定する意味

コープリハビリテーション病院・老健あかね 管理者 鍛本真一郎



写真2. 演者の倉敷中央病院救急科部長 田村暢一朗先生



写真1. 「患者報告型アウトカムを言語化する～あなたのQOLは何点ですか?～」(於・水島臨床フォーラム、2022/12)

	1年後の身体的QOL	1年後の精神的QOL
大手術が必要な生命の危機があった	影響なし	影響なし
外傷は重症だった	影響なし	影響なし
配偶者がいる	影響なし	低下
同居家族がいる	低下	低下

図1. 倉敷中央病院救急科のデータです。大手術、重症度は、その後のQOLに影響しませんでした。むしろ配偶者も家族もない一人世帯の方がQOLを低下させず頑張っていることがうかがえます。(田村先生のデータから許可を得て作成)

【医療に導入されるQOLスコア】
QOLとは「クオリティ・オブ・ライフ」の略です。直訳すると「生活の質」ですが、「質」が高いか低いかは他人が判断できません。たとえ本人の自己満足だとしても「生きてよかった」と思えれば「QOL」は高いのです。ではどうやってQOLを測定するのでしょうか?

【水島臨床フォーラム】
折しも昨年12月22日の水島

臨床フォーラムで倉敷中央病院救急科の田村先生がQOLスコアの講演をしてくれました(写真1、2)。これは患者自身によるアンケート回答を計量心理学的に分析する手法です。既に国民標準値も公表されていて比較も容易です。

【満足度の物差し】
QOLスコアはまるで患者の体重や血圧を測るように「満足度」が数値化されます。それを使った倉敷中央病院救急科のデータは非常に興味深

【かすじ】
いま田村先生は老健あかねで、自宅から3ヶ月短期集中リハビリを受ける本人・家族の満足度調査をしています。これがうまくゆけば自宅でも必要に応じてリハビリを提供すれば生活機能を落とさず暮らし続け、ひいてはQOLに貢献するといえます。

いです。満足度の「質」を左右するのは私たち医療者の想定外なものでした(図1、2)。

退院して早く復職したかったが、家族が心配してなかなか復職ができなかった

家族・子供がいてお金の問題があるのに、なかなか働けない自分がストレスだった

なかなか消えない胸の痛みを家族に言っても理解してもらえず辛かった。

図2. QOLが低下していた患者さんへの聞き取りです。「住民のQOLは社会との関係性に強く影響を受けている可能性がある」と田村先生は述べています。

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

